



発行:日本労働組合総連合会鳥取県連合会
発行人:北畑仁史 編集人:谷口龍太郎
住所:〒680-0847 鳥取市天神町30-5
TEL(0857)26-6605 FAX(0857)26-6615
E-mail:tottori@tottori.jtuc-rengo.jp
ホームページ:https://jtuc-tottori.jp

働く仲間を増やし、労働条件の維持・向上、働きやすい職場づくりを推進していこう！ —「2026年度組織拡大実務者研修会」を開催—

連合鳥取は7月25日(土)、新日本海新聞中部本社ホールにおいて「2026年度組織拡大実務者研修会」を開催しました。研修会には14産別と連合鳥取事務局から44人(うち女性10人・女性参画率22.7%)が参加しました。

■講演「企業内未組織労働者の組織化について」

講師/連合総合組織局 中央オルガナイザー 黒川 真一さん

講演では、①日本の労働組合の現状、②加盟組合調査結果から見える課題、③パートタイマーの組織化、の3点について説明がありました。

「日本の労働組合の現状について」では、労働組合の組織率は16%と低く、雇用者数6千万人のうち5千万人は集団的労使関係に守られない現状について説明を受けました。

「加盟組合調査結果から見える課題について」では、人材(役員の成り手)不足や組織力の低下などの各組織が抱えている課題についての説明を受けました。

「パートタイマーの組織化について」では、黒川オルガナイザー自身の経験を踏まえた具体的な取り組み事例を交えながら、組織化のポイントについて説明を受けました。



講師/黒川オルガナイザー

■産別事例報告

J P労組、日教組、J A Mの3組織からそれぞれの産別での取り組み事例報告発表をしていただきました。とりわけ、J A Mの取り組み報告では、昨年新たに連合鳥取の仲間入りをした「鳥取ロブ労働組合」の産別加入取り組みについて、具体的な事例紹介がありました。

(写真左から)・J P労組鳥取連絡協議会 谷口龍太郎議長 ・日教組鳥取県教職員組合 中松輝嘉書記長
・J A M山陰 柳瀬昌広執行委員



■グループワーク

「労働組合のメリット・デメリット」をテーマにメリット・デメリットをどう伝えてるか、労働組合があることによる企業側のメリット・デメリットについて参加者同士で意見交換を行い、発表いただきました。



写真上・左/グループワークの様子 右/まとめのあいさつをする亀山泰孝組織局長

連合では組織拡大を重点課題として位置付けており、昨年の10月から「連合 組織拡大プラン2030」フェーズⅡの取り組みを展開中です。各組織におかれましても、さらなる組織拡大・強化の取り組みをよろしくお願いいたします。

参加者の声



J R連合 JR西労組
徳永 一浩さん

研修では、労働組合が事業所の過半数を維持する意義、また、未加入者の組織化については「組織化のスケジュール」の紹介があり、大変勉強になった。

その後、産別事例報告、最後に「労働組合に入るメリット・デメリット」についてのグループワークだったが、他産別の取り組みや悩み等を聞く事ができ、気づきもたくさんあり、全体を通して非常に有意義な研修会だった。この研修で学んだことを、日々の労働運動に生かしたい。



紙パ連合王子製紙新労働組米子支部
津村 亮介さん

労働組合の組織率低下が懸念される中、組織拡大の事例報告を通じて、組合加入の意義やメリットを適切に伝えられているかを改めて考える機会となった。

黒川オルガナイザーの講演で印象に残った「三役の覚悟」と「短期間でやりきる」を、今後の活動に生かしていきたい。

鳥取県へ提出(8月4日)した「連合鳥取2027年度政策・制度要求」(別紙)もご参照ください

■特集 連合鳥取2026春季生活闘争■

2026春季生活闘争「最終集計」発表

8月3日(月)、2026春季生活闘争の最終集計について記者発表を行いました。

2026春季生活闘争は、実質賃金の持続的な上昇を伴う「賃上げノルム」の確立をめざして、連合本部方針の5%に加え地域間・企業規模間格差是正のための要求として1%上乗せをした6%以上の賃上げ目標を掲げ取り組みました。

中東情勢による不透明な状況への危機感をもちつつも、労使が、賃金、経済、物価を安定した巡航軌道に乗せ、「賃上げがあたりまえの社会」を実現する正念場であるとの共通認識のもと、組合員の生活の安心・安定と企業の持続的成長、日本全体の生産性向上につながる「人への投資」の重要性について、粘り強く真摯に交渉した結果、3年連続となる高い水準での賃金引上げとなり、「賃上げノルム」が浸透しつつある結果となりました。

7月末の最終取りまとめでは、平均賃上方式加重平均で**12,412円**の賃上げ(昨年比176円増)結果を得ることができました。

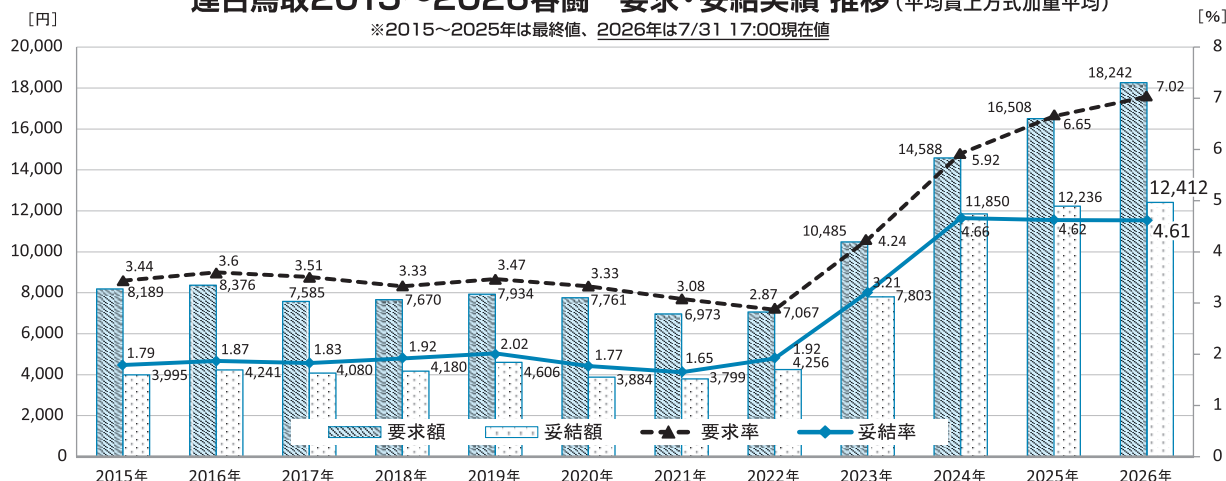
企業規模間格差是正や適正取引・価格転嫁による賃金引上げなど取り組みの更なる強化を行い、2027春季生活闘争に向けて挑みます。

そして、県内すべての労働者の処遇改善を実現するため、牽引役としての役割を果たしていきましょう。



連合鳥取2015～2026春闘 要求・妥結実績 推移 (平均賃上方式加重平均)

※2015～2025年は最終値、2026年は7/31 17:00現在値



「労働組合の役員として何が必要か」を考える！ ー「2026 労組リーダーセミナー」を開催ー



あいさつする北畑会長

8月22日(土)、中部教育会館(倉吉市)において「2026労組リーダーセミナー」を開催しました。

各産別から役員歴2年～5年の方を中心に41人、連合鳥取事務局6人、合計47人(うち女性15人・参画率31.9%)が参加しました。

初めに主催者を代表して北畑仁史会長があいさつを行いました。

その後、鳥取県中小企業労働相談所(みなくる)管理運営マネージャーの福嶋 敬さんを講師に、「労働相談事例から学ぶ、組合員との関わり方」と題して講演をいただきました。

グループワークでは、「職場環境の改善に向けて ～こんな相談があったらどう対応する?～」をテーマに、具体的な事例を2つ取り上げ、グループで話し合いを行いました。

最後に、山下浩二副事務局長が閉会のあいさつを行い、参加者にアンケートの記入をお願いし、セミナーを終了しました。

講演



写真上/講師 福嶋さん



グループワーク



閉会のあいさつ/
山下副事務局長

鳥取市議会議員選挙 推薦決定

連合鳥取は、「第9回執行委員会(2026.8.20)」において、11月15日告示・11月22日投開票で実施される鳥取市議会議員選挙に、下記の予定候補者を推薦することを決定しました。(順不同)

(告示日時点の年齢/経歴/推薦依頼組織)(敬称略)

村尾 昌彦 (44歳/新人/交通労連 国民民主党)

石田 小百合 (60歳/新人/自治労 全水道)

勝田 鮮二 (72歳/現3期/立憲民主党)

坂根 政代 (64歳/現1期/部落解放同盟)



村尾昌彦さん



石田小百合さん



勝田鮮二さん



坂根政代さん

◆ 平和特集 ◆

連合鳥取 2026 ピースウォーク実施 **メインスローガン** 子どもたちに核兵器も戦争もない未来を

東部地協ピースウォーク/165人参加
〈7月27日(月)/さざんか会館〉

平和行進



JR鳥取駅南口から会場まで行進
※シュプレヒコールで「平和」を訴えながら移動

平和学習



DVD上映 「ヒロシマの記憶」
～幻の原爆フィルムで歩く広島～

中部地協ピースウォーク/80人参加
〈7月24日(金)/倉吉体育文化会館〉

平和学習



講演
「戦後81年 被爆体験伝承
～被爆者の思いを語る～」
講師/被爆体験伝承者 川上慎治さん

西部地協ピースウォーク/150人参加
〈7月29日(水)/米子コンベンションセンター〉

平和アピール行動



米子市文化ホール前庭で
アピール行動を実施



朗読劇 「ゴー・ストップ」
栗屋仙吉さんのお話 演劇集団「あり」



連合 平和行動に参加

沖縄/3人参加 〈6月23日(火)～25日(木)〉



「連合平和オキナワ
集会」に参加
那覇文化芸術劇場
「なはーと」

ピース・フィールドワーク
「基地コース」に参加

嘉手納基地、チビチリガマ
などを訪問



「米軍基地の整理・縮小」と
日米地位協定の抜本的見直しを
求める集会・デモ行進に参加

集会会場の県庁前
県民広場から国際
通りをデモ行進

広島/10人参加 〈8月5日(水)～6日(木)〉



暑さ指数(WBGT)が
危険予測となったため、
参加者の安全を考慮し、
予定されていた「ピース
ウォーク」は中止となっ
た。

鳥取からの参加者は、独自で「平和公園」、「広島
平和記念資料館」の見学を行った。

「被爆81年
連合2026平和
ヒロシマ集会」に
参加

上野学園ホール



集会前に、鳥取から
持参した折り鶴を
ステージ上で献納

長崎/6人参加 〈8月8日(土)～9日(日)〉



「被爆81年
連合2026平和ナガサキ
集会」に参加
長崎県立総合体育館



NY行動報告
被爆者の訴え
講演
「変わる国際秩序と
核兵器」
若者からのメッセージ
など

平和行動参加者の感想を連合鳥取ホームページに掲載しています



鳥取県最低賃金 時給 1,090円 (60円引き上げ) に! (10/3発効)

2026年度の地域別最低賃金

単位は円。各地の答申に基づく

引き上げ額	都道府県(ランク)
62円	茨城(B) 宮崎(C)
61円	福島(B) 青森(C)
60円	宮城(B) 愛媛(B) 鳥取(C)
59円	石川(B) 福井(B) 島根(B) 秋田(C)
58円	京都(B) 新潟(B) 山口(B)
57円	静岡(B) 栃木(B) 群馬(B) 富山(B) 福岡(B) 岡山(B) 徳島(B)
56円	兵庫(B) 三重(B) 広島(B) 滋賀(B) 北海道(B) 岐阜(B)
55円	長野(B) 奈良(B) 和歌山(B) 香川(B)
54円	埼玉(A) 千葉(A) 愛知(A)
53円	東京(A) 神奈川(A) 大阪(A)

※県名の下が空白の県は8月26日時点で未決定の県です。

※2026年10月1日から 順次発効となります。

発効日は都道府県によって異なります。

佐賀	福岡	1,114	島根	1,092	兵庫	1,172	京都	1,180	福井	1,112	岐阜	1,121	長野	1,117	新潟	1,108	福島	1,094
長崎	大分		山口	1,101	岡山	1,104	滋賀	1,136	岐阜	1,121	山梨	1,196	埼玉	1,195	群馬	1,120	栃木	1,125
熊本	宮崎	1,085	愛媛	1,093	香川	1,092	大阪	1,231	奈良	1,107	三重	1,143	和歌山	1,101	徳島	1,103	茨城	1,136
沖縄	鹿児島		高知	1,103											神奈川	1,279	東京	1,280

鳥取 1,090



北海道	1,131
-----	-------

青森	1,090
----	-------

秋田	1,090
山形	1,098

岩手	1,090
宮城	1,098

神奈川	1,279
東京	1,280

み寄り、最終的に労働者側1,100円、使用者側1,086円で公益見解に判断を委ね、「第9回専門部会(2026.8.7)」に公益見解として「60円引き上げ、1,090円」が提示され、採決の結果、全会一致で結審しました。

鳥取の審議会は昨年同様、目安額が示されていない7月23日(木)から専門部会を開催し、公労使が真摯に議論を重ね、8月7日(金)に全会一致できたことは来年度に繋がる結果だと評価しています。

8月24日(月)までに鳥取労働局へ異議申し立てがなかったことから、今年度の発効日は10月3日(土)で確定しました。

“ザ・議員”

福井 康夫 倉吉市議会議員

ー「議員定数削減」に向けてー

全国で投票率が低下傾向にあり、昨年の市議選は無投票となりました。人口推計は大きく減少し、議員定数2名減を求めています。議員10人が「削減」の意思を示し、残りの7人が維持・増の意向です。

ー「土砂崩れ・復旧難航」解決は?ー

市内の灘手地区、別所(半坂)では今年3月に土砂が流出して、今なお少しずつ崩れています。発生原因は複合的といわれ、かつ農地の災害補助基準にならないといった課題があります。完全復旧のめどが立たない現状となっています。併せて市道の通行止めに対して、現場に足を運び、生活道としての復旧を求めてきました。8月に迂回路整備着手の答弁を市長からいただきました。災害が多発する日常となり、ますます現場第一主義が求められるようになりました。

以前にも増して連合のみなさまのご支援をお願いいたします。



灘手地区・半坂の農地崩落現場にて

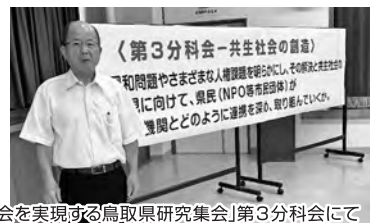
大森 英一 伯耆町議会議員

8月4日(火)、「第51回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」の第3分科会を聴講しました。

部落解放同盟所属支部による交通弱者の救済活動に特化した報告と、部落解放鳥取県共闘会議の取り組みについてそれぞれ報告がありました。

前半の支部報告では、交通手段のない高齢者をボランティアで支える内容で、公助ではカバーできない部分を現場主義で取り組む姿に解放運動が培った成果として捉えました。

一方、部落解放鳥取県共闘会議の報告では、過去の反省を踏まえ差別の現実を直視し、公平な社会をめざし続ける姿勢に共感を覚えるとともに、部落解放鳥取県共闘会議に一括加盟する「連合鳥取」というネームバリューの影響力を再認識しました。



「第51回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」第3分科会にて

夏本番は過ぎましたが暑さは続き、まだまだ熱中症対策が必要な時期となつていきます。近年は猛暑日が続くことが珍しくなく、今年からは酷暑日なく屋内作業においても熱中症のリスクが高まっています。私たちが労働組合では先日、熱中症により尊い命を失った組合員の仲間を送りました。ご本人の無念さ、ご家族の深い悲しみを思うと、胸が痛みます。この出来事を決して風化させることなく、同じ悲劇を二度と繰り返してはなりません。補給や適切な休憩、そして周囲の気配りによって予防できる災害です。しかし「少し無理をする」「まだ大丈夫だ」といった油断が重大な結果につながる変化を感じた時は迷わず申し出る、仲間の異変に気付いたら声を掛け、その積み重ねが命を守ります。安全は一人です。守るものではなく、職場全体で築き上げるもの。安全で無理をしない、安全で安心して働ける環境の実現に取り組んでいきましょう。

(N・K)



てんてんてんてん



再生紙を使用しています